

進路情報 オンリーワン

令和6年11月22日発行
牧之原特別支援学校進路指導部

中学部 1年生がお掃除検定にチャレンジ！

中学部では、総合的な学習の時間を、通称「にこにこチャレンジ（にこチャレ）」と呼んでいます。1年1組～5組では10月4日から3週間にわたって「自分について知り、自分のできることを増やそう」をテーマに「にこチャレ」に取り組みました。高等部で行う技能検定を中学部バージョンにして「自在ほうき」と「机上清掃」の検定を行い、午後からは家庭でもお手伝いができるように皿洗い活動にチャレンジしました。普段の清掃等で、ほうきで掃いたり台拭きをしたりしている生徒たちですが、今一度、道具の使い方や手順を確認しながら、繰り返し練習に取り組みました。最初は、ぎこちない様子も見られましたが、3日間の練習で「ゴミを見て掃けるようになった。」「布巾を上手にしぼれるようになった。」「手順を覚え、机を丁寧に拭くことができた。」など、上達していく姿があちこちで見られました。そして、3日間のチャレンジの後は「おそうじ検定」を行いました。検定では職員の前で、緊張しながらも、真剣に取り組み、合格した生徒たちは、合格証をもらうことができました。毎日、課題や目標を確認しながらじっくり丁寧に取り組むことで、できなかったことができるようになったり、なんとなく行っていたことが上達したりするなど、生徒たちも充実感や達成感を感じていたようです。また今回、高等部進路担当の内野先生にも来ていただき、「どちらの検定も手順どおりにできて素晴らしかったです。」と褒めていただきました。今回の学習を毎日の生活に生かして行ってほしいです。



☆生徒の反省・感想☆

- おそうじ検定本番で、自信をもって、自在ほうき・机上清掃ができたのでよかった。
- 自在ほうきのし字に掃くところが難しかったけれど、できるようになった。
- ゴミを全部忘れずにちりとりで集めることができた。
- 掃くときに、2回トントンを忘れずにできた。
- 真ん中にゴミをしっかりと集めることができた。
- 自在ほうきの持ち方は、親指でしっかりと押さえることができた。
- 机上清掃では、手順どおりに拭くことができた。
- 手の向きを意識して拭くことができた。
- 布巾の絞り方を内側にしっかりと絞ることができた。
- 手の角度や向きを間違えずに拭くことができた。

中学部 3年生が高等部見学へ！

中学部3年生は、長期的な視点で進路について考えられるよう、1学期から進路学習に力を入れています。校外活動の職場見学や修学旅行のキザニアでは、高等部卒業後の進路（職業）について学習をしてきました。そして今回は、進路先のひとつである高等部について知るために、高等部の7つの作業班（縫製班、ハンドクラフト班、委託班、木工班、園芸班、窯業班、サービス班）の見学を行いました。中学部でも作業学習を行いますが、高等部には、中学部にはない作業班があり、同じ作業班でも製品や作業内容が異なるため、生徒たちは興味をもって、真剣に話を聞き、メモを取っていました。

今回の見学を通じて、生徒たちは本校高等部での学びに対する期待を高め、進路選択に向けた意識を更に深めることができました。今後の進路決定に向けて、引き続き積極的に学びを深めて行ってほしいです。



高等部 後期産業現場等における実習・校内実習終了!

高等部では、10月28日(月)から11月8日(金)まで、後期産業現場等における実習を実施しました。

【1年生】2回目の校内実習(通算2回目)

前期と同様に、実態別に3班に分かれての校内実習を行いました。前期の校内実習を経験しているため、事前から見通しがもてていて、目標設定などで様々なキーワードが自然と出てくるようになってきました。実習自体も、初日からほとんど戸惑うことなく、自分のなすべき事に落ち着いて取り組む姿が印象的でした。特に3班の生徒たちは、ドタバタ劇もありながら、すっかり自然体で活動に参加でき、来年の実習ももう大丈夫でしょう。午前中の「仕事」と午後の「レクリエーション」どちらも生き生きとしていました。

【2年生】2回目の現場実習(通算4回目)

前期現場実習での経験をしたことで、今回の実習では、事前学習の時点から、真剣な顔で取り組んでいる様子が見られました。「校外に出ることに見通しをもち、自分なりに安定して実習の準備ができる。」「学校の看板を背負って、実習先で働く責任感に気付く。」「進路決定に向けて現実的に考えられるようになる。」など、少しずつ大人になる準備が進んでいるように見受けられます。

【3年生】4回目の現場実習(通算6回目)特別実習1~2回実施済み数名

進路先が少しずつ決まり始めました。就職希望者の実習は、入社試験扱いの企業もありました。福祉事業所希望者は、実際の卒業後の生活を想定して併用利用を試してみたり、アセスメントを兼ねていたり、実習のもつ意味合いは様々でした。進路先を悩まれている方もまだ多いですが、進路決定に向けていよいよ終盤戦です。チャレンジ・勝負・悩み、3年生はたくましくなります!

例年、高等部卒業後の進路先で、一番多いのは「就労継続支援B型」で、約3~4割ほどです。卒業後に「B型」を利用する予定の3年生は、18歳を迎えた方から順次「アセスメント」に出ています。今回の実習でも「アセスメントを兼ねる」方が4名でした。通常、実習は年に2回ですが、高等部3年生は「進路決定」が最優先なため、「特別実習」という形で何回でも実習に出ることが出来ます。また、「アセスメント」は、実施できる事業所がとても少ないため、1年間を通して、誕生日とB型利用の意向が固まり次第、計画的に依頼しています。

【よく聞く言葉「アセスメント」とは何だろうか?】

就労継続支援B型事業所は、本来、「企業に就職したが離職してしまった方」または「就労移行支援事業を利用したが、就職につながらなかった方」を対象としています。そのため、卒業後、直ちに利用することができません。そこで、18歳を迎えた方(在学中でも可)は、一時的に就労移行支援事業所と短期間(2~4週間)の利用契約を結び、「就労に関するアセスメント(評価)」をしてもらう必要があります。アセスメントの結果で、「直ちに企業での雇用は難しい」という判断のもと、就労継続支援B型事業所を利用できるようになるものです。

<(1年生)後期校内実習の活動一覧>

1班	【企業での実習を想定した活動内容】 園芸作業・清掃作業(技能検定清掃部門練習・検定を含む)
2班	【就労継続支援A型・B型等を想定した活動内容】 食品会社からの委託作業(ニンニクの皮むき)・軽作業
3班	【生活介護を想定した活動内容】 軽作業・創作活動・余暇活動

1年生は、次年度の現場実習先での活動内容を想定し、実態別での活動に取り組みました。登校後から、活動、給食、帰りまで全て各班で過ごしました。

<(2・3年生)後期産業現場等における実習(現場実習)先一覧>

福祉施設	【始良市】さちかぜ、たたえ、kakeru、hopen、ゆいの里、愛ぼっぴーサンテリア愛ら、コミュニケーションAREAセルプあいら、初音白銀坂事業所、lppo
	【鹿児島市】ユーススコラ鹿児島
	【霧島市】ワークプレイスひなた、ワークショップしんあい、PLUS、サポートセンターかがやき、ワークショップはやと、eワーカーズSmile Life、ワークセンター隼人、鈴かけ園、心和の郷、ライフスタイル、ぱっしょん、ワークセンターやまびこ、ワークショップOHANA、にじの橋(中央・姫城)、オレンジの里、ARK(アルク)スマイルズ、ワークサポートひとつ霧島、福山学園
	【曾於市】楽笑、笑流(エル)、グリーンガーデン、末吉学園成人部 恵誠園、 【志布志市】一颯(いぶぎ)
GH	【鹿屋市】就労継続支援B型ココハウス
	【都城市】りのらミラクル、ブルーマーリン
	【霧島市】鈴かけ、ピリーブきよみず 【曾於市】第2からまつ荘 【都城周辺】希望のアルカ

※GH・・・グループホーム

企業行政	【始良市】かじはらプリン、クリーンサービス、ヤマト運輸鹿児島ベース、ワタキューセイモア始良工場、えびの電子
	【霧島市】AZ はやと、ネットトヨタ国分隼人店、養護老人ホーム国分舞鶴園、ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社、マクドナルド国分広瀬店、ハンズマン国分店、霧島記念病院霧島ホテル
	【曾於市】末吉学園(支援員補助)、 【志布志市】サンキョーミート
	【都城方面】ワタキュー都城工場、ニシムタ都城五十市店 コルディアーレ農園